

# 英泰伯佐 恋恋 劍生柳張尾 8 命密



かなすぎそうざぶろう  
金杉惣三郎（浪人 元相良藩江戸留守居役） — しの（妻）、結衣（娘）

あやめ（亡き妻）、清之助（息子）、みわ（娘）

せいぞう  
長屋：勢三（豆腐屋）、うおつね  
魚常（魚屋）、や おおきゆう  
八百久（八百屋）、にいじまや  
新島屋（乾物屋）

りゅうざう  
柳蔵（旅支度東海屋の番頭）、うたもじ  
歌文字（三味線の師匠）、こうきち  
高吉（蟹床）

こうじんやきはち  
荒神屋喜八（火事始末御用）

まつぞう  
松造（小頭） — お由（元ととやの女中）

かんあみぜんべえ  
冠阿弥膳兵衛（芝神明の札差） — さき（女房）、じいちろう  
治一郎（息子）、ちゅうぞう  
忠蔵（番頭）

とうごろう  
登五郎（芝蔭若頭） — お杏（女房 冠阿弥の娘）、半次郎（息子）

たつきち  
辰吉（源助町蔭の総頭取） — つや（女房）

さんじ  
三次（蔭）、しょうへい  
昇平（蔭）、まとい  
新太郎（纏持ち）、弘吉

いわみでつたろうなりむね  
石見鍔太郎成宗（一刀流道場主）

ずしよのすけ  
木下凶書助（師範格 福岡藩黒田家）、いたみ  
伊丹五郎兵衛（師範格）

むなかた  
棟方新左衛門（流浪の剣士 津軽ト伝流）

みぞがみはりぞう  
溝上張蔵（近江水口藩道中方）

よねつかんべえ  
米津寛兵衛（常陸鹿島 石見の師）、こうきち  
甲吉（下男）

けいあん  
溪晏（八丁堀の医者）

げんしち  
源七（ととや）、つね（少女）

いねしち  
伊吹屋金七（京橋の薬種問屋）、はづき  
葉月（娘）

くらじろう  
山口鞍次郎（但馬出石藩 西村桐十郎の亡き友） — のえ  
野衣（妻）

えつちゅうやき  
越中屋季右衛門（材木屋）、えもん  
大蔵（番頭）

まんさく  
万作（昇平の友 芝浦の漁師）

ごへい  
伍平（豆腐屋）、そうはち  
相八（兄 宮津藩中間）

りょうねん  
了念（品川梅寺の小僧）、かまぞう  
鎌蔵（寺男）

いちじょうじきくこどう  
一条寺菊小童（公家鷹司家の若党 内裏一剣流）

徳川吉宗（八代将軍 紀州藩主光貞の四男 生母は由利・浄円院）

齋木高玖（豊後相良藩主） — 麻紀（正室 紀州新宮藩息女）

水野和泉守忠之（老中）

古田孫作（江戸家老）

佐古神次郎右衛門（家老職）

庵原三右衛門（江戸留守居役）、忠紀（父）

佐々木治一郎（御側衆 長男）、次郎丸（次男）、三郎助（三男）

杉村久右衛門（用人）、弓削辰之助（馬廻役）

徳川継友（尾張藩主）、宗春（弟）

柳生備前守俊方（将軍家剣術指南）、三宅円之丞（家老）

林崎八郎兵衛（江戸家老）

大岡越前守忠助（南町奉行）、織田朝七（内与力）

北村主繕（江戸留守居役）

藤里季右門（密偵）、お吉

長倉栄五郎（御用人）

牧野勝五郎（与力）、お園（妻）

柳生兵助（尾張柳生後継）

西村桐十郎（北町同心→南町同心）

柳生六郎兵衛厳傳（剣術指南）

花火の房之助（岡っ引） — 静香（女房 踊り手習い師匠）

四天王：沢渡鵜右衛門、法全正二郎、大河原権太夫、牛目幾満

三吉（下っ引）、三児（下っ引）、政七（下っ引）、信太郎（下っ引）

横地坐禅坊（宝蔵院流高田派）

猪之吉（下っ引）、義次郎（下っ引）、義三（下っ引）

速水左馬之助雪雅（甲賀一刀流）

熊吉（下っ引） — うめ（孫娘→女中）

鳥羽治助（以心流）

山川安左衛門（火付盗賊改役）、板倉和三郎（与力）

坂上三郎助、長井鍋之丞

青山幸英（丹後宮津藩主）

山本辰兵衛（江戸家老）

井出半左衛門（江戸留守居役）

軽部 駿次郎（御番組頭の養子） 柳生新陰流 法全正二郎

お稲（女中）

寺沢団輔（熊本藩町奉行）

鉄仙（雲巖寺和尚）

野中左膳（神道無念流 盗賊の頭）

相良小巖太（人吉藩士 タイ捨流）